

2025年5～6月 活動報告

天塩町地域おこし協力隊 鷹尾 心

目次

- 着任の経緯・抱負
- 活動記録
 1. 天塩川歴史資料館 見学案内
 2. 総会・研修会参加
 3. 道みんの日に向けての準備
 4. 天塩川歴史資料館 web サイト制作に向けての準備
- 活動の総括・天塩川歴史資料館における活動の展望

着任の経緯・抱負



神奈川県茅ヶ崎市出身。大学から大学院時代は美術文化財・歴史に関する研究を行い、学芸員資格を取得した。前職で美術品や伝統工芸品に関わる業務を経験し、やはり博物館で働こうという気持ちが再燃したため、天塩町の学芸員職募集への応募に至る。出身大学に松浦武四郎の終の棲家が保存されていること以外、天塩町や北海道に所縁は無かったが、やるなら自分がどこまでできるか挑戦してみようと思った。

前職での職務経験に加え、学生時代に経験した学内博物館や外部展覧会でのアルバイト経験を活かし、地域の方々に親んでもらえる資料館の活動を行いたい。

活動記録

1. 天塩川歴史資料館 見学案内

天塩川歴史資料館の学芸員として、来館者への展示解説・案内を行った。着任間もないタイミングでの訪問対応を成功させるため、天塩町の歴史の概要や展示資料の把握、ガイド内容の考案に努めた。

着任からの2か月間で来館いただいたのは、周辺地域の住民の方々・旅行中のお客様・団体のお客様など、おおよそ合計400名。7・8月にかけて来館者数は増加が見込まれるため、見学案内のクオリティ向上を目指す必要がある。

実施した見学案内：

- ① 5月14日 天塩小学校生徒 資料館見学案内
- ② 5月16日 天塩町公認インフルエンサー 友成純さん
- ③ 5月22日 鈴木直道北海道知事



▲ 鈴木道知事の訪問対応・展示案内

- ④ 6月2日 ホーマー市訪問団
- ⑤ 6月30日 天塩町公認インフルエンサー 白丸あすかさん

見学・取材後、7月16日～18日に資料館で実施予定のキャンペーンについて紹介記事を作成していただいた。

記事リンク：https://note.com/asuka_shiromaru/n/n1f217b602398?sub_rt=share_sb



◀ 白丸あすかさんの訪問対応・展示案内

2. 総会・研修会参加

天塩町地域おこし協力隊、そして天塩川歴史資料館学芸員として、各種協議会や研修に参加した。周辺地域の協力隊・学芸員の方々がどのように活動し、活動内容を発信しているか、活動地域での周囲との関わり方など、多岐に渡って学ぶことができる機会となった。

参加した総会・研修会：

- ⑥ 留萌管内協力隊ネットワーク総会（於：オンライン）
- ⑦ 宗谷管内学芸員連絡協議会 総会（於：稚内市役所）
- ⑧ 第1回 地域おこし協力隊初任者研修（於：オンライン）
- ⑨ 北海道考古学研究大会（於：北海道大学総合博物館）
- ⑩ 上川北部・留萌地方博物館資料館研修（於：名寄市北国博物館）
- ⑪ 道北地区博物館等連絡協議会総会（於：オンライン）

3. 道みんなの日に向けての準備

7月17日の「北海道みんなの日（道みんなの日）」に合わせて、7月16・17・18日の3日間、天塩川歴史資料館にて各種キャンペーンを行う。3日間の無料開館に加え、学芸員による展示解説ツアーとQRコードをスキャンして視聴できる音声ガイドのテスト運用を実施予定。本キャンペーンのための諸準備を進めている。

着任後初の資料館の企画であるため、今後の活動の参考材料として来館者の反応や音声ガイドのWebページに設置したアナリティクスから興味・関心のデータを蓄積することを目指す。



▲音声ガイドの使い方リーフレット・QRコード

◀ 音声ガイド視聴ページ

4. 天塩川歴史資料館 Web サイト制作に向けての準備

天塩川歴史資料館の Web サイト制作に関して、1年以内の公開を目指し、作成を進めている。本ホームページは、来館促進および館の認知度向上を目的として、町内外・道内外を問わず幅広い層に資料館の情報を発信できる中核的なプラットフォームとなることを目指すものである。SNS の活用も有効な手段ではあるが、館としてのカラーやコンセプトを一貫して伝えるためには、情報を集約できるホームページという形態が最適と判断される。

また、ホームページ上に問い合わせフォームを設置することで、来館者からの意見を収集し、館運営の改善に活かすほか、アクセス解析により、性別・年齢などの属性データを取得し、今後の展示企画や広報活動の方針決定に活用できると考えている。

コンテンツ面では、町内の方々が親しみを持てるような常設展示資料の紹介や、過去に実施したイベントの記録閲覧ページを設ける予定である。また、インターネットミュージアム等のポータルサイトへの掲載を通じて、町外・道外からの認知向上も図る。

地域おこし協力隊としての任期中の運用を通しては、資料館としてのブランディングを確立し、ロゴやキャラクターを活用した PR 展開やグッズ販売の可能性も視野に入れている。また、学芸員によるブログ記事を通じて資料館の魅力を継続的に発信し、来館者数とウェブ上の収益の双方の向上を目指す。



▲ 天塩川歴史資料館 Web サイトイメージ

活動の総括・天塩川歴史資料館における活動の展望

5月1日に着任してからの2か月間は、天塩町の歴史や天塩川歴史資料館における日常的な業務の把握に加え、近隣地域のコミュニティへの参画を中心に取り組んだ。

今後の活動の方針として、1年を目途に天塩川歴史資料館の情報発信媒体の基盤を構築することを目指す。そのために、Webサイトの作成や地域の方々との交流事業を通じて情報収集と資料館の知名度向上に努める。

今後の目標

〈情報発信の強化〉

- ・ Webサイト上での学芸員コラムや特別展示のお知らせなど継続的な情報発信
- ・ 地域の話題と連動した更新コンテンツの作成
- ・ SNS（Instagram や X など）との連携による情報拡散力の向上

〈地域とのつながり強化〉

- ・ 周辺博物館との連携ページ（学習教材や見学の記録など）の掲載
- ・ 地域の方々へのインタビュー実施（産業や歴史に関する情報の収集）
- ・ 町内イベントとの連動告知（商工会・観光協会などとの連携）

〈来館促進・観光資源化〉

- ・ 観光客向けのアクセス・モデルコース紹介ページの新設
- ・ 音声ガイド・展示解説の多言語化（英・仏・西・中・韓が理想）
- ・ 周辺施設との連携（道の駅や飲食店）による回遊性の向上

〈資料館ブランディングの展開〉

- ・ ロゴやキャラクターの活用によるオリジナルグッズの企画
- ・ オンラインショップによる収益化の可能性の検討
- ・ 記念企画・周年事業などとの連動広報

〈データ分析と改善〉

- ・ サイトアクセス解析データを基にコンテンツ改善・ターゲティング強化
- ・ 来館者アンケートの回答率向上策を考案し、展示やサービスの質を向上
- ・ ページごとの閲覧傾向を分析して、導線設計の見直しを継続

資料館の運営上不可欠な基本的機能が安定した後は、学術誌への論文投稿やローカルな研究団体の会報への寄稿などを目標に、研究機関としてのミュージアムの役割を果たせるよう注力していきたい。